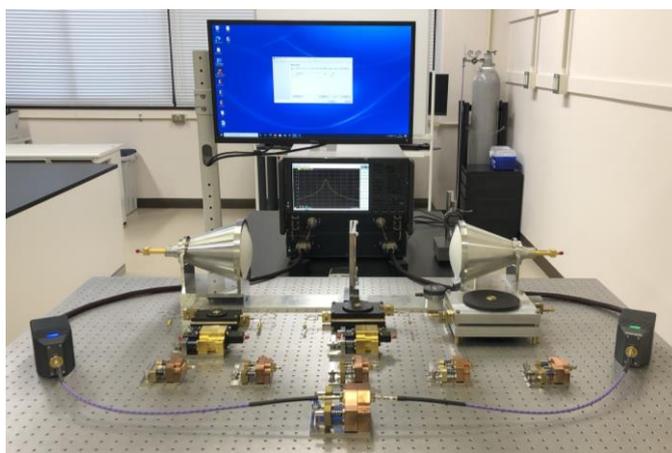
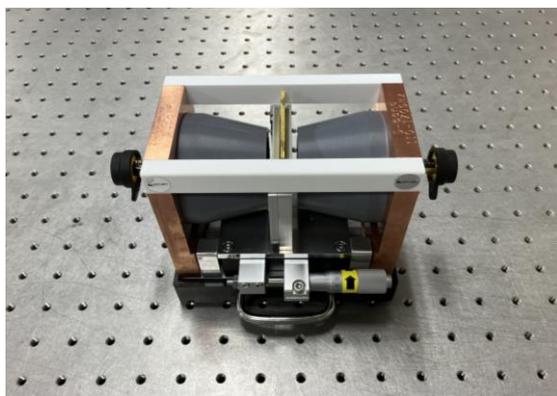


全国公設試で初！
Beyond5G 材料開発用 1～170 GHz 誘電特性評価システムを設置！

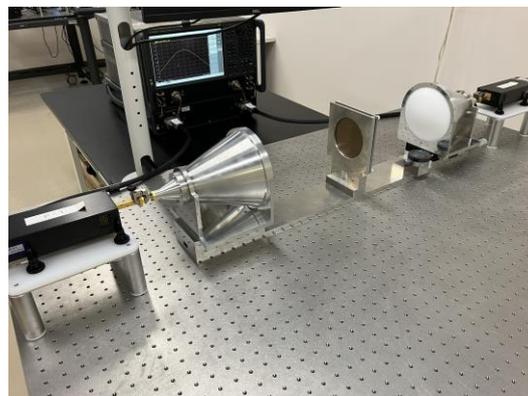
(地独)大阪産業技術研究所(本部:大阪府和泉市、理事長 小林哲彦)はこの度、公設試としては全国で初めて、森之宮センターの先進電子材料評価センター内に、170 GHz まで対応可能な高周波誘電特性評価システムを設置しました。令和5年12月から順次、材料開発支援サービスを開始し(依頼試験での対応は令和6年4月からの予定です)、素材や材料の開発で次世代 Beyond 5G 高速通信社会の実現をめざす化学・材料関連企業を、技術で支援します。



システム外観
(1～110 GHz セット時)



ファブリペロー共振器
(110～170 GHz 用)



フリースペース測定用具：Dバンド
(110～170 GHz 用)

内

容

関連
HP

<https://orist.jp/gaiyou/facility/electronic.html>



問合

地方独立行政法人大阪産業技術研究所 森之宮センター 企画部 辻谷
 TEL : 06-6963-8331 (受付時間 平日 9:00～12:15、13:00～17:30)

備考

参考資料

参考に新・誘電特性評価システムの概要を以下に示します。

装置名	対応周波数と特徴
ベクトルネットワークアナライザの周波数拡張 (2023年12月新導入)	110~170 GHz に対応
ファブリペロー共振器 (2023年12月新導入)	75~110 GHz、110~170 GHz に対応 低誘電材料の誘電率、誘電正接を評価可能
Dバンドフリースペース法測定装置 (2023年12月新導入)	110~170 GHz に対応 誘電率・透磁率の評価、Sパラメータの取得が可能
ベクトルネットワークアナライザ (2022年1月導入)	1~110 GHz に対応
スプリットポスト、スプリットシリンダ共振器 (2022年1月導入)	1.1、2.5、5.1、10、20、28、40、60、80 GHz に対応、 低誘電材料の誘電率、誘電正接を評価可能
導波管サンプルホルダー (2022年1月導入)	8~18 GHz に対応 誘電率・透磁率の評価、Sパラメータの取得が可能
フリースペース法測定装置 (2022年1月導入)	18~110 GHz に対応 誘電率・透磁率の評価、Sパラメータの取得が可能